



神居東が全道出場権に続いて制覇！ 第4回旭川地区U-148人制サッカー大会

第4回旭川地区U-148人制サッカー大会は、10月14日第4ステージが神居東中学校を会場に行われました。第3ステージで1位になり、全道大会出場を果たした神居東中は、この日もその経験をいかんなく発揮、3連勝で優勝を果たしました。

第4ステージ 10月14日(日)

第4ステージは、全道大会を経験した神居東中学校が実力差を發揮し、3連勝を飾りました。第1戦は阿部のハットトリックで上川を一蹴。第2戦では立ち上がり早々、三橋の先制点によって神居東がリズムをつかみます。阿部の2試合連続ハットトリックもあり、パステークに快勝しました。第3戦は前半開始早々に加藤のミドルシュートがきれいに決まめ、神居東が試合を優位に進めます。さらに、神居東は2分に加藤、5分には阿部が追加点をあげました。粘る港南も27分土田が1点を返すがここまで。神居東が優勝を飾りました。2位には土田の活躍でパステークを破った港南中学校が入りました。

港南 3 - 1 (0 - 0) パステーク 植松正, 土田 (港) 月岡 (パ)
神居東 8 - 0 (3 - 0) 上川 松本, 阿部, 三橋, 佐藤 (神)
神居東 7 - 0 (4 - 0) パステーク 三橋, 阿部 (神)
港南 12 - 0 (7 - 0) 上川 土田, 大石, 植松正 (港)
神居東 3 - 1 (3 - 0) 港南 加藤, 阿部 (神) 土田 (港) [警] 三橋 (神) 土田 (港)



初優勝を飾った旭川市立神居東中学校

A	神居東				港南				パステーク				上川				勝点	得点	失点	得失差
神居東	-	-	-	-	2-1	1-5	1-2	3-1	3-2	0-4	6-2	7-0	9-0	8-0	8-0	8-0	27	56	17	39
港南	1-2	5-1	2-1	1-3	-	-	-	-	0-2	1-1	1-1	3-1	12-0	7-0	9-0	12-0	23	54	12	42
パステーク	2-3	4-0	2-6	0-7	2-0	1-1	1-1	1-3	-	-	-	-	9-0	5-0	3-1	12-0	20	42	22	20
上川	0-9	0-8	0-8	0-8	0-12	0-7	0-9	0-12	0-9	0-5	1-3	0-12	-	-	-	-	0	1	102	-101

大会の記録

優勝 旭川市立神居東中学校 第3位 パステーク(光陽と当麻のクラブ申請)
準優勝 留萌市立港南中学校 第4位 上川町立上川中学校
得点王 土田健人(港南中学校2年) 33点
優秀選手
三橋 章人(神居東中学校2年) 佐藤 京介(神居東中学校2年)
土田 健人(港南中学校2年) 月岡 伸明(パステーク/光陽中学校2年)

得点ランキング

1. 土田 健人 (港南中学校2年)	33点	7. 大石 将史 (港南中学校2年)	6点
2. 月岡 伸明 (パステーク2年)	24点	8. 佐藤 和都 (パステーク2年)	5点
3. 三橋 章人 (神居東中学校2年)	24点	9. 菊地 陽介 (パステーク2年)	4点
4. 阿部 隼也 (神居東中学校2年)	15点	10. 齋藤 大地 (神居東中学校2年)	3点
5. 植松 正輝 (港南中学校1年)	12点	植松 大輝 (港南中学校2年)	
6. 加藤 雄太 (神居東中学校1年)	7点	鷲見 隆 (パステーク2年)	

コンサドーレ旭川ブロックカフスで好調！ 平成19年度第1回ブロックカフスリーグU-14

平成20年度の北海道カブスリーグ入りを目指すブロックカブスリーグDブロックが、約2か月の中断期間を経て再開しました。第1戦でFC NORTEに快勝しているコンサドーレ旭川ユースU-15は、10月20日のプログレッシブ十勝戦で勝利を収め、21日のレアリッザーレ戦は引き分けましたが勝ち点7で首位を走っています。27日のベアフット北海道戦に勝つと1位で決勝リーグに進むことになります。決勝リーグは10月28日から始まり、上位2チームが20年度のカブスリーグに昇格します。また、コンサドーレ旭川ユースU-15は、高円宮の全国大会を控え、2種のU-17リーグに参加して奮闘しています。

第1戦 8月25日(土) SSAP人工芝

コンサドーレ旭川 7 - 1 (2 - 1) FCノルテ
得点者 河原, 田中, 玉田, 阿羅, 山下, 小手川 2

第2戦 10月21日(土) 池田町

コンサドーレ旭川 3 - 0 (3 - 0) プログレッシブ十勝
得点者 伊藤, 玉田, 中澤

第3戦 10月22日(日) 池田町

コンサドーレ旭川 4 - 4 (3 - 1) レアリッザーレ
得点者 中澤, 武井 2, 小手川

第4戦 10月27日(土) SSAP人工芝 対ベアフット北海道

*各ブロック上位2チームまでが決勝リーグ進出
決勝リーグ第1戦 10月28日(日) SSAP人工芝
決勝リーグ第2戦 11月10日(土) SSAP人工芝
決勝リーグ第3戦 11月11日(日) SSAP人工芝

D	ベアフツ	レアリッ	NORTE	コンサ旭川	プログレッシブ十勝	勝点	得点	失点	得失差	失点	得失差
ベアフット北海道	-	1-1	0-4	-	1-7	1	2	12	-10	10	14
レアリッザーレFC	1-1	-	2-2	4-4	-	3	7	7	0	9	9
FC.NORTE	4-0	2-2	-	1-7	-	4	7	9	-2	9	8
コンサドーレ旭川ユース	-	4-4	7-1	-	3-0	7	14	5	9	13	2
プログレッシブ十勝FC	7-1	-	-	0-3	-	3	7	4	3	16	-1

啓北中学校がカフスリーグU-15中体連加盟チーム参入決定戦に参加

コンサドーレ旭川ユースU-15がブロックカブスリーグに参加していますが、そのカブスリーグの中体連枠を決めるカブスリーグU-15中体連加盟チーム参入決定戦に啓北中学校が参加します。大会は10月27日から11月10日まで、4チームによるリーグ戦で行われます。上位2チームが次年度のカブスリーグに参加できます。コンサドーレ旭川ユースU-15とともに、カブスリーグへの参入が実現することを期待しています。

10月27日(土) 栗山ふじスポーツ広場

10:00 札幌あいの里東中vs札幌札苗北中 11:20札幌真栄中vs旭川啓北中

10月28日(日) 栗山ふじスポーツ広場

10:00 札幌真栄中vs札幌札苗北中 11:20旭川啓北中vs札幌あいの里東中

11月4日(日) 札幌サッカーアミューズメントパーク

10:00 札幌真栄中vs札幌あいの里東中

11月10日(土) 札幌サッカーアミューズメントパーク

14:50 旭川啓北中vs札幌札苗北中



緑が丘準々決勝でSSSに惜敗。 第1回JFAプレミアカップ北海道大会

第1回JFAプレミアカップ北海道大会は10月6日から8日まで千歳市で開催されました。旭川地区からは7月の大会で優勝したコンサドーレ旭川ユースU-15と緑が丘中学校が出場しました。コンサドーレ旭川は惜しくも1回戦でスプレッドイーグルFC函館に1対1のPK戦で敗れましたが、緑が丘中は準々決勝まで進みました。緑が丘中から大会の戦評が届きましたのでお知らせします。

1 回戦

緑が丘中1 - 1 (0 - 0) <PK5-4> DENOVA (札幌地区地区)

得点者 豊田 (59分) (緑)

緑が丘 GK吉田 DF館山, 佐藤, 太田, 藤原 MF川口, 猪川, 横田, 田端

FW土田, 久保 交替/GK今多 FP豊田, 國本, 相澤

【戦評/小林(緑が丘)】

秋晴れの中、緑が丘のキックオフで試合開始。立ち上がりから、緑が丘はボールを支配し、左サイドの川口と右サイドの横田を使い、DENOVA陣内へと攻め入る。しかし、6分過ぎからDENOVAは、素速いアプローチからボールを奪うと、リズムよく中盤から、前線へとボールをおくりこみ、足をいかした攻撃を展開。次第にGK吉田がボールをさわるシーンが増え始め、緑が丘陣内での攻防が続く。残り5分は、緑が丘のDF館山、佐藤がタイトなディフェンスから、ボールをインターセプトし、疲れの見え始めたDENOVA陣内へとオーバーラップし、スルーパスやクロスを送りこみ、シュートシーンを演出し、前半終了。

後半は、前半終了間際の流れをいかし、緑が丘が攻め入る。34分には、左DF藤原からの大きなクロスに右サイドハーフの横田が反応。飛び込んで頭で合わせるが、惜しくもシュートはバーの上。38分には、右DFの佐藤が横田に縦パス。横田は足をいかしてドリブル突破。PA外中央に位置したFW久保にパス。久保がDFをかわして放ったシュートは惜しくもゴールポスト直撃。さらに39分。PA外左10m付近からのFKをFW豊田が蹴るが、GK正面。43分には、藤原からのアーリークロスに豊田が頭で合わせるが、ゴールの枠外へ。押し気味であった緑が丘だが、47分DENOVAに左サイドを突破されると、センターリング。中央に位置したFWのシュートをGK吉田は横へ飛びでさわるが、惜しくも手からこぼれてしまい、ボールはゆっくりとゴールに吸い込まれ、点数を奪われる。その後、緑が丘は、相手陣内まで攻め入るが、焦りから攻撃が単発になりシュートにまでもっていけない。このまま、終了のホイッスルがなると思われた59分。FW久保がポストプレーから前線の豊田に絶妙なパスを出す。豊田は一瞬フラットになった相手DFの裏をつき抜けると、飛び出してきたGKをかわし、落ち着いてシュート決め、土壇場で同点に追いつき、試合はPK戦へ。PK戦は6人目までもつれ込み、怪我で途中から出場していた相澤が最後をきっちりと決め、5対4で辛くも、初戦を突破することとなった。

2 回戦

緑が丘中5 - 0 (2 - 0) 桐花中 (函館地区代表)

得点者 0・G (6分), 土田 (9分), 豊田 (40分), 藤原 (57分) (緑)

緑が丘 GK吉田 DF館山, 佐藤, 太田, 藤原 MF川口, 猪川, 横田, 田端

FW土田, 久保 交替/GK今多 FP豊田, 國本, 相澤, 稲尾

前日に引き続き、晴天ではあるが、風が強い。緑が丘は、開始早々からボールを支配し、完全に流れを引き込む。MF猪川と田端がゲームをコントロールし、ワイドな攻撃を展開。両サイドのDF佐藤、藤原、さらに両サイドのMF横田、川口が立て続けに、ゴール前にボールを放り込む。6分には、DF佐藤がオーバーラップ、ゴールラインすれすれから低

いクロスを入れると、FW久保を抑えにかかった相手DFがクリアミス。OWNゴールとなり、1点目を奪う。続く、9分にはDF藤原から左サイドを走るFW久保にスルーパス。久保がドリブルからDFをかわしクロスをあげると、中央に飛び込んできたFW土田が足であわせて2点目を奪う。その後も攻撃の手をゆるめず、函館陣内での攻防が続く、決定的なシュートを何度も放つが、全て枠外へ。追加点を奪えず、前半終了。

後半も、開始早々から、緑が丘は函館陣内へ攻め入る。31分にはDF佐藤からパスを得たMF横田がドリブルでサイドを突破。中央に位置したFW久保にパス。DFをかわした久保はフリーでシュートを放つが、GK正面。33分にはMF猪川からのスルーパスに反応したFW豊田がフラットになったDFから抜け出し、ドリブル。たまたま飛び出したGKが25m付近で豊田に手でチャージ。イエローカードで、FKを得るも、直接ねらったシュートをGKが好セーブ。その後、一瞬の間をつかれ、カウンター攻撃を受ける緑が丘だが、中央DFの太田、館山が堅実に相手を抑え、シュートをさせない。緑が丘のペースでゲームは進み、40分には、DF佐藤がインターセプトのボールを横田にスルーパス。横田が足をいかしてドリブル突破。DFを完全に振り切り、ゴールライン際から中央に走り込んできたFW豊田に絶妙なマイナスパスをだし3点目を奪う。更に52分には、途中出場のFW稲尾が左の川口にスルーパス。川口はドリブルで切れ込み、左からシュート。GKがはじいたところを豊田がけり込み追加点を奪う。そして57分、DF佐藤がオーバーラップからそのまま切れ込み、ドリブルシュート。DFがクリアしたボールを横田が拾い、クロスをあげると飛び込んできた左DF藤原がヘッドであわせてだめ押しの5点目を奪い、試合終了。

準々決勝

緑が丘中0 - 1 (0 - 0) SSSジュニアユース (札幌地区代表)

緑が丘 GK吉田 DF館山, 佐藤, 太田, 藤原 MF川口, 猪川, 横田, 田端

FW土田, 久保 交替/FP豊田, 國本

前日の雨はすっかりあがり、無風の中、準々決勝がAピッチで始まる。Bピッチでは札幌コンサとアンフィニの好カード。立ち上がりからのSSSのリズムのよい早いパス回しと、球際の強さに翻弄され、完全にゲームはSSSのペースで展開。緑が丘は、次第に相手のパスをクリアすることが精一杯となる。SSSに決定的なシュートにまで、もってはいかせないが、緑が丘陣内での攻防が20分過ぎまで続く。その後、SSSのスピードになれてきた緑が丘は、SSS主導のゲーム展開の中ではあるが、組織としての動きを取り戻し、前半を0点で凌ぐ。

後半は、やや疲れの出てきたSSSに対して攻撃のチャンスをうかがう緑が丘であるが、前線へのパスの精度に欠き、ことごとくチャンスをつぶしてしまう。そして、37分には、警戒していた相手FW9番にサイドをドリブル突破されると、9番は緑が丘のカバーリングの遅れを見逃さず、そのまま切れ込み、中央から豪快にシュート。ゴール左隅にシュートを決められてしまい、大きな一点を奪われる。その後もSSSの支配率の高い中、試合が進むが、一矢報いたい緑が丘は、カウンター攻撃から場面の打開を図る。チャンスが訪れるも、やはりパスのリズムがあわず、ゴール前にボールを運ぶことができない。58分には、最後の力を振り絞った緑が丘は怒濤の攻撃を見せるが、SSSの堅いDF陣に好きにはさせてもらえず、フィニッシュまでもっていくことができず、試合終了。

個人の力の差を見せつけられたゲームではあったが、個々にそしてチームとして大きな収穫を得た大会であった。単独の中学校チームがことごとく消えていく中、全道ベスト8まで勝ち進んだ緑が丘の選手たちの健闘に拍手を送りたい。

